

永井先生からのメッセージ No.5

～元小学校の先生から保護者の皆さんへ～

2023年 1月 10日(金)

野毛山幼稚園

元小学校教諭 永井 裕



「あー、もう生きていけないなんて。」

【悲観的タイプ】



二人に わかってほしいことは..



【能天気タイプ】



「あー、もう新しいのを見つけたよ。」

どんな生きものも、いつか天国に行く日がある。だから、その日があるまで大切に育てていくんだ。



わかった!

▶豊かな自然の中、多くの生きものと共に学ぶ『野毛山ライフ』。どんな生きものにも愛着をもって接する。それが、子どもたちの学びを豊かなものに行っているのだと思います。



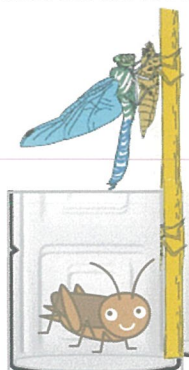
わかった!



【小学校1年生・国語教材】

『ずっと、ずっと、だいすきだよ』 ハンス・ウィルヘルム

▶主人公が愛犬エルフの死に直面する物語。「最後の日まで大切に」「死があるからこそ、生は光り輝く」という作者からのメッセージ。それをしっかり受け止められるのは「生きものとの豊かなふれあい体験」あればこそ。(ちなみに、R6年度。教科書は改訂の時期を迎えます。H4年度(1992)から30年間、親しまれてきたこの作品。ぜひ残してほしいです。)



▶水泳が終わったプールの中では、多くのヤゴが育ちます。そのヤゴを清掃の前に救い上げ、一匹ずつペットボトル(下半分)に入れてエサを与え続けるとトンボになります。(エサは糸ミズがベストですが、入手保存しやすいのは冷凍アカムシ)

▶水底をはい回っていたヤゴが、一夜にして、大空を飛ぶトンボに。まさに奇跡。そんなふうに「生き物のすごい」を発見したり、生き物をお手本にして「自分もがんばろう」と思ったり。素敵な思い出がたくさんできますように。

【余談】プール清掃。多くの学校が業者さん委託に変更。ヤゴは流されてしまうのかな？
このご時世。飼う活動が少なくなってきた小学校。教育も流されてしまうのかな？